

友の会ニュース

2010 January No.11

海外美術ツアー 参加者の募集が開始されます

前号でもお知らせしましたように、当館「友の会」の会員様または会員ご関係者の皆様を対象とする海外行事として、3月1日(月)～8日(月)の8日間、チェコ(プラハ等)、オーストリア(ウィーン)、ハンガリー(ブダペスト)の中欧3ヶ国を巡る美術ツアーが実施されます。

プラハは20世紀初頭の美術の潮流であるキュビズムの思想を、絵画や彫刻だけではなく、建築にも取り入れた唯一の都市です。

またウィーンでは、分離派の台頭、そしてウィーン工房の家具

や工芸品などを中心とした近代建築へのアプローチが見られます。さらにブダペストでは、このツアーでも訪問予定の「ジョルナイ工房」で開発されたセラミックの製造技術が、陶器ばかりではなく、建造物のタイルなどにも活用され、独特な建築様式を確立しました。

このように各都市が文化的に独自の発展を遂げてきた背景には、波乱に満ちた長い歴史がありました。ハプスブルグ家の王制、現代史の範疇では数々の抑圧や革命などがあり、それらを経てもなお残る文化・芸術的遺産は街のいたるところに見受けられます。

独自の文化と民族性を融合させながら、自らの芸術を獲得してきた個性豊かな三都市を満喫することが出来るでしょう。なお本ツアーに関するお問い合わせや参加申込方法等は、同封

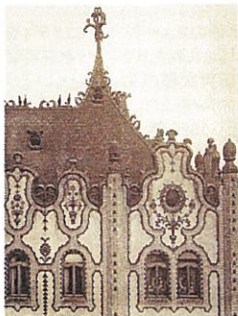
しております

ラシ「ウィーン・

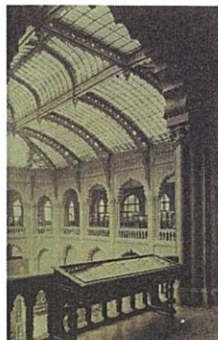
プラハ・ブダペスト「工芸・建築・音楽」の旅をご覧の上、取扱代理店宛にお願いいたします。



レヒニル、エデン
郵便貯金局、ブダペスト
(1900-1901)外観



レヒニル、エデン
郵便貯金局、ブダペスト
(1900-1901)外観



レヒニル、エデン
応用美術館、ブダペスト
(1893-1896)中央ホール

海外美術ツアーお申込・お問い合わせ

日本通運株式会社 京都旅行センター

TEL:075-213-5510 担当: 藪田・奥谷

●関連ガイド・書籍等

個人では訪れる機会の少ない中欧の都市に、この機会にぜひ行ってみたいくなるガイドや書籍の一例をご紹介します。

■『地球の歩き方 ポケット ウィーン/プラハ/ブダペスト 2008～2009』
ダイヤモンド社(2008/07)
3都市を押さえたお手軽ガイドブック。

■『地球の歩き方 中欧 2009～2010』
ダイヤモンド社(2008/8)
チェコ、ハンガリーを含む周辺の13カ国を網羅したガイドブック。

■『るるぶウィーン・プラハ・ブダペスト'09～'10』
JTB パブリッシング(2009/2)
中欧3都市の美術館・博物館ガイドが充実。

■『プラハを歩く』(岩波新書)
田中充子著、岩波書店(2001/11)
建築家である著者の視点が冴える街並み案内書

■『ウィーン—都市の近代』(岩波新書)
田口晃著、岩波書店(2008/10)
先進的な都市づくりと市政の近代化を住民の暮らしや文化動向と共に描く。

■『ウィーン物語』(講談社学術文庫)
宝木範義著、講談社(2006/7)
芸術・学問を起点に都市に潜む感性に迫る。

■『Pen(ペン) 2009年10/15号』
阪急コミュニケーションズ(月2回刊版、2009/10)
行きたい場所がすぐ分かるウィーン街歩きマップ掲載。

■『プラハ歴史散策—黄金の劇場都市』(講談社+α文庫)
石川達夫著、講談社(2004/1)
プラハを劇場と捉え、2部構成で歴史と建築を辿る散策ガイド。

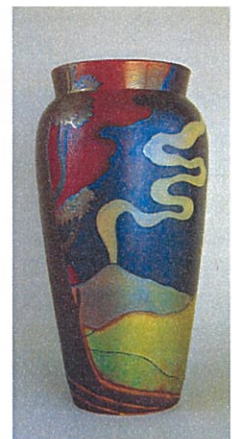
■『ハプスブルグ三都物語—ウィーン、プラハ、ブダペスト』(中公新書)
河野純一著、中央公論新社(2009/11)
王家と帝国の歴史から受け継がれる文化と建築で都の現在を伝える。



リブル=ローナイ、ヨーゼフ
ジョルナイ工房
《ティファニー風裝飾花瓶》
1898
磁器、エオシン釉



ジョルナイ工房
《チューリップ形のコブレット》
1899
磁器



ジョルナイ工房
《花瓶》
1899
磁器、エオシン釉

予告

マイ・フェイバリット

—とある美術の検索目録 所蔵作品から

当館が国立近代美術館京都分館から京都国立近代美術館となった1967年に、わずか3点の所蔵作品から開始されたコレクションは、



マルセル・デュシャン《泉》1917/1964
レディーメイド・オブジェ(1964年シヴァ
ルツ版 6/8)、京都国立近代美術館蔵

2010年3月の時点で、約1万点の作品、資料を有

する大きなものに成長しました。数多くの優品が含まれるこのコレクションの中には、技法や素材で分類する従来の区分では語りきれない「その他」(1986年開始)という興味深い作品群があります。美術と建築・デザイン、彫刻と写真・映像などが多様な形で重なり合う「その他」の作品と、それらと直接的に関係する他区分の作品とを併せ、約300点の所蔵品によって、京都国立近代美術館が「その他」という枠組みの中で創り上げてきた、コレクションの中のもう一つの物語を紹介します。

会期:平成22年3月24日(水)~5月5日(水・祝)

休館日:毎週月曜日 ※ただし5月3日(月・祝)は開館

主催:京都国立近代美術館

休館のお知らせ

2009年12月28日(月)から2010年3月23日(火)まで館内改修工事のため、全館休館いたします。

「友の会」会員の皆様にはご不便をおかけいたしますが、どうぞご了承下さいますようお願い申し上げます。

2010年の展覧会予定 *変更の場合もございます

マイ・フェイバリット
—とある美術の検索目録 所蔵作品から
平成22年3月24日(水)~5月5日(水・祝)

稲垣仲静・稔次郎展
平成22年5月18日(火)~6月27日(日)

19世紀ローマの写真(仮称)
平成22年5月20日(木)~6月27日(日)

Trouble in Paradise:生存のエシックス
平成22年7月9日(金)~8月22日(日)

『日本画』の前衛 1938-1949
平成22年9月3日(金)~10月17日(日)

上村松園展
平成22年11月2日(火)~12月12日(日)

NFC 所蔵作品選集 MoMAK Films @ Goethe 中国・日本映画特集

上映時間:各回 14:00~19:00 頃(開場は 13:30)

料金:1 プログラム 500 円、当日券のみ

定員:先着 100 席

当日 13:30 より受付で当日分のすべての作品の整理番号付き入場券を販売、開場いたします。各回入替制です。2 回目以降は各上映開始の 10 分前に開場します。

※入場は整理番号順・自由席です。(椅子席、棧敷席があります。)

入場券は当日・当該回のみ有効です。前売券はありません。

会場内での飲食はご遠慮願います。

主催:京都国立近代美術館(MoMAK)

東京国立近代美術館フィルムセンター(NFC)

協力:ドイツ文化センター(京都)

会場:Goethe-Institut Japan in Kyoto

/ ドイツ文化センター(京都)

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町 19-3 (川端通荒神橋上ル)/TEL:(075)761-2188

交通案内 <http://www.goethe.de/ins/jp/kyo/knt/anf/jaindex.html>

※全作品 35mm、外国語作品は日本語字幕付。上映作品は予告なく変更する場合があります。

●今後の上映予定

2010年1月16日(土) 中国

映画大國・中国の、1930年代末から40年代の激動の映画状況を比較。アメリカ映画の影響と洗練された話法や娯楽性で黄金期を築いた上海映画に描かれた上海、中満合作の『萬世流芳』が再現した広州、そして満鉄の芥川光蔵がドイツ製レンズで切り取った満州。これらに描かれた中国社会、映画人の視点、を多角的に検証する。

『娘々廟会』(にゃんにゃんめやをほい)(1940年、監督:芥川光蔵)

『萬世流芳』(1942年、監督:ト萬蒼、朱石麟、馬徐維邦、張善理、楊小仲)

『馬路天使/街角の天使』(1937年、監督:袁牧之)

2010年3月13日(土) 日本

P.C.L・東宝のモダンな作風を体現した伏水修のミュージカル・コメディを特集。生誕100年を機に、黒澤明に夭折を惜まれた伏水の仕事を再発見する。あわせて生誕105年を迎える斎藤寅次郎の真骨頂ともいふべき、発掘作2篇を含むスラップスティック・コメディを上映。

『モダン怪談 100,000,000円』[松竹グラフィック版](1929年、監督:斎藤寅次郎)

『石川五右衛門の法事』[パテベビー短縮版](1930年、監督:斎藤寅次郎)

『爆弾花嫁』(1935年、佐々木啓祐)

『君を呼ぶ歌』(1939年、監督:伏水修)

『世紀の合唱 愛國行進曲』(1938年、監督:伏水修)

『東京ラプソディ』(1936年、監督:伏水修)

お問い合わせ:京都国立近代美術館

ドイツ文化センター(京都)

TEL (075)761-2188 <http://www.goethe.de/kyoto>

京都市立芸術大学主催 クリスマス・コンサート 開催報告



2009年12月12日(土)18:00から、当館1階ロビーで、京都市立芸術大学音楽学部主催のクリスマス・コンサートが開催されました。立見が出るほどの盛況振りでした。沢山のご来場ありがとうございました。

友の会主催 ボルゲーゼ美術館展解説ツアー 開催報告



2009年12月28日(金)、年内最後となる「友の会」イベントが開催されました。好評を博している開催中の「ボルゲーゼ美術館展」を、閉館後少人数で、作品を前にして解説を聞きながら、じっくりと作品を鑑賞する貴重な機会となりました。

来年も「友の会」イベントをさらにグレードアップしていきたいと思っています。ご参加をお待ちしております。